

# ふるさとの文化財散歩

今月は9月1日に行われる八朔祭りに飾られる4帳の屋台飾幕を訪ねます。

## 屋台飾幕

### 「牧童牛の背に笛を吹く」

屋台飾幕は、江戸時代後期の文化・文政時代（今から約二百年程前）に谷村の各町が競って作り、その豪華さを誇った山車の舞台を飾った幕の中心をなすものです。

しかし、八朔祭りに練り出された山車は交通事情や社会情勢の変化などによって次第に解体されて姿を消してしまいました。飾幕も同様に倉庫などへ奥深くしまわれたままとなって破れたり、虫に喰われたりしたままとなっていました。昭和四十八年に屋台飾幕保存会が結成され、日本の染織研究家の第一人者である多摩美術大学山典知行名誉教授を中心に六名の方々によって実に十五年余の歳月をかけて丹念に調査・復元されました。また、飾幕以外の他の幕についても復元作業が引き続き行われています。

4帳の屋台飾幕は、作られた年代の古さもさることながら、その下絵は江戸町民文化華やかな文化・文政時代の有名な絵師葛飾北斎や藤原栄之によるもので当時も各方面から注目された貴重なものです。

市指定有形文化財第十五号  
赤々と燃える夕映えの中、今しがた草刈りを終えた牧童が悠々と黒牛の背に揺られながら家路に向かう、そのひと時の静かな情景をとらえています。この幕には作者を示す落款はありませんが葛飾北斎の下絵と伝えられています。

見入ると柳の枝が揺れ動くなか、牧童の吹く横笛の音が聞こえてくるようです。

八朔祭りに谷村町駅前の早馬町屋台会館で、昨年復元された貴重な山車と共に展示されます。

所有者 早馬町自治会  
寸法 縦二、三二メートル  
横五、三〇メートル

### 屋台飾幕「虎」

市指定有形文化財第十九号

竹林の中で向かい会った二頭の虎が互いに吠え合う様が聞こえてくるようです。虎は吹いてくる風に対してさえも毛を逆立てて猛然たる気配を示すといわれていますから、この飾幕の図柄は勇者が事にあたって奮起するさまを物語って

いるのでしょうか。この飾幕は別名「竹林猛虎の図」とも言われ、その下絵は葛飾北斎が書いた落款があり、東陽画狂人北斎筆とあります。八朔祭りに中央三丁目四番一号の天野栄一さん宅会所で展示されます。

所有者 下町自治会  
寸法 縦二、〇七メートル  
横五、八五メートル

### 屋台飾幕「桜に駒」

市指定有形文化財第四十号

春風に黒駒がいなくなくと、引き綱を結わえつけた桜の古木が揺れ動き、満開の桜の花が散り、桜吹

雪となる一瞬の美をとらえています。この下絵は、絵師で五百石の旗本であり、その名声は歌麿にも負けない藤原栄之の作で、いかにも黒駒が生き馬のごとく表現されています。

所有者 仲町自治会  
寸法 縦二、二〇メートル  
横五、三〇メートル

### 屋台飾幕「鹿島踊り」

市指定有形文化財第四十一号

鹿島明神の託宣（お告げ）を触れ回る「事触れ」の三人の古老を描いています。鹿島神社の神域で烏帽子をまとい、天に向けて太鼓を打ち鳴らし、陽気な鳥の絵柄の扇子をかざし、月兎の万燈を掲げて、踊りうかれている愉快で賑わしい情景をとらえています。

この下絵は落款はありませんが葛飾北斎の作と伝えられています。八朔祭りに上谷三丁目一番二十号の仁科キヌエ宅会所で展示されます。

所有者 新町自治会  
寸法 縦一、九四メートル  
横六、二五メートル



牧童牛の背に笛を吹く



虎



桜に駒



鹿島踊り